

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

【共通】

直近の決算日: 令和 5 年 3 月 31 日

1. 団体の概要				
団体名	(公財) 長崎県スポーツ協会	設立目的、経緯及び根拠法		
設立年月日	昭和45年9月4日	スポーツを振興して、県民体力の向上を図り、スポーツ精神を養うことを目的に、昭和45年9月に公益法人として財団の認可を受け、その後、平成25年4月1日に公益財団法人に移行して、県内の体育・スポーツ関係団体を統括し、行政と協力して県民のスポーツ振興及び競技力向上のための各種事業を実施している。令和2年4月に「長崎県体育協会」から「長崎県スポーツ協会」へ改称した。		
所在地等	〒 852-8118			
	長崎市松山町2-5			
	TEL 095-845-2083			
	Fax 095-848-7749			
	E-Mail ngsk42@nagasaki-sports.com			
県所管課	教育庁 体育保健 課	定款等に定める事業		
資本金・基本金等の額(千円)	主な出資者	出資額(千円)	比率(%)	①国民体育大会や各種スポーツ大会及びスポーツに関する競技力向上に対する助成並びに指導者の資質向上を図る事業 ②県民の生涯スポーツに関する事業 ③児童・青少年の健全育成を図るための各種スポーツ大会の開催並びにスポーツに関する講習会・研修会等の開催及び助成事業 ④スポーツ水準の向上を図るためのスポーツ医科学の調査・研究等に関する事業 ⑤スポーツ功労者、またはスポーツについて優秀な個人、もしくは団体表彰を行う事業 ⑥スポーツに関する宣伝、啓発及び奨励事業 ⑦その他この法人の目的を達成するために必要な事業
	長崎県	2,000	10.00	
		18,000	90.00	
			0.00	
			0.00	
	その他		0.00	
	総額	20,000	100.00	
ホームページURL				

2. 組織・人員の状況(3月31日現在)												
役員(名)	区分	R2	R3	R4	フロハ <sup>○</sup>	派遣県職員	兼務県職員	県OB	他自治体	民間	その他	
	常勤			0	0							
	非常勤	25	23	25	25							
	合計	25	23	25	25	0	0	0	0	0	0	
職員(名)	R2	R3	R4	正規職員		派遣県職員	兼務県職員	非正規職員		他自治体	民間	その他
				うち県OB				うち県OB				
	16	15	9	1		3		5				
1人当たり人件費(年度推移)		R2		R3		R4		平均年齢		賞与月数		
常勤役員報酬年額(千円)								歳				
正規職員平均給料月額(千円)		*		*		*		* 歳		* 月		
1人当たり人件費(R4、年代別)		20代以下		30代		40代		50代		60代以上		
正規職員平均給料月額(千円)				*								
各年代別正規職員数(名)				1								
県からの常勤又は非常勤役員	県の役職				団体での役職				区分			
上記役員以外の顧問等	知事				会長				非常勤			
	教育長				副会長				非常勤			
	副知事				顧問				非常勤			
県派遣又は兼務職員	指導主事				事務局長兼スポーツ振興課長				派遣			
	指導主事				スポーツ振興課係長				派遣			
	指導主事				スポーツ振興課主任指導員				派遣			

**出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)**

【共通】

**2. 組織・人員の状況(3月31日現在)(続き)**

組織図																					
<table border="1"> <tr> <td>理事会</td> <td>23名</td> </tr> <tr> <td>  理事長</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>  副理事長</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>  専務理事</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>  理事</td> <td>20名</td> </tr> </table>	理事会	23名	理事長	1名	副理事長	1名	専務理事	1名	理事	20名	<table border="1"> <tr> <td>事務局</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  事務局長</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>  総務課</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>  スポーツ振興課</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>  スポーツ非常勤職員</td> <td>1名</td> </tr> </table>	事務局		事務局長	1名	総務課	3名	スポーツ振興課	4名	スポーツ非常勤職員	1名
理事会	23名																				
理事長	1名																				
副理事長	1名																				
専務理事	1名																				
理事	20名																				
事務局																					
事務局長	1名																				
総務課	3名																				
スポーツ振興課	4名																				
スポーツ非常勤職員	1名																				
監事	2名																				

**3. 県財政負担の状況(千円)**

〈当年度受入額〉		〈当年度末残高〉	
補助金	26,597	貸付金残高	
負担金		損失補償・債務保証残高	
委託料	127,109	/	
貸付金			
損失補償・債務保証額			
出資金			

**4. 県の政策との関連性**

1 政策目標

■競技スポーツの推進

総合成績1位を獲得した「平成26年長崎がんばらんば国体」後の国体順位について、10位台を目指しつつ20位台定着

2 県との役割分担

県の役割	団体の役割
国体強化やトップアスリート発掘・育成など、関係団体との連携により競技スポーツの推進を図るため、競技力向上対策等の事業を実施する	国体強化のため加盟競技団体を統括・助成するほか、生涯スポーツ、スポーツ医・科学、スポーツ少年団など、県民に対して幅広くスポーツの普及・振興を図り、その裾野を広げるための各種事業を実施する

団体に委ねる理由	説明
<input type="radio"/> 県が直接実施するよりも効果的・効率的に事業実施可能	競技の特性や競技人口・規模など、各競技団体を取り巻く状況は千差万別で、これらに対してきめ細やかに対応するためには、統括団体として各競技団体の活動に精通している県体育協会がより効果的・効率的に各種事業を実施することができる
<input type="checkbox"/> 県が直接実施することが困難	
<input type="checkbox"/> その他	

3 事業実施状況

事業名	事業概要	事業費(千円)	主な実績	事業の評価、今後の方向性
1 スポーツ振興事業	各種大会などの開催費、参加費等を補助	13,889	都市体育大会、各種競技大会ほか	スポーツの普及・振興に寄与しており、今後も引き続き実施予定
2 競技力向上事業	競技団体が実施する強化事業や指導者の資質向上事業等に補助	14,362	免税募金競技団体強化事業、競技力向上事業ほか	競技力向上に寄与しており、今後も引き続き実施予定
3 国体派遣事業	国民体育大会・九州ブロック大会に選手監督等を派遣	129,796	第42回九プロ・第77回国体並びに特別国体冬季大会に派遣費ほか	国体等に選手等を適切に派遣できており、今後も引き続き実施予定

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

【共通】

5. 中期経営計画等の進捗状況・事業目標の達成状況										◎ 達成	○ 一部達成	× 未達成	— 未実施
中期 計 画	No.	項目名	R4 実績	計画上の目標値				最終年度 (R)	達成状況				
	①	(目標値設定の根拠・考え方)											
		(翌年度に向けての改善事項等)											
	No.	項目名	R4 実績	計画上の目標値				最終年度 (R)	達成状況				
	②	(目標値設定の根拠・考え方)											
		(翌年度に向けての改善事項等)											
	No.	項目名	R4実績	計画上の目標値				最終年度(R)	達成状況				
	③	(目標値設定の根拠・考え方)											
		(翌年度に向けての改善事項等)											
	No.	項目名	R4実績	計画上の目標値				最終年度(R)	達成状況				
④	(目標値設定の根拠・考え方)												
	(翌年度に向けての改善事項等)												
No.	項目名	R2	R3	R4	備考								
事業 目 標	①	スポーツ振興事業 (郡市体協事業への補助)	(計画)	17郡市	21市町	21市町	12市町より申請があったが、6市町で中止となっている						
		(実績)	10郡市	9市町	12市町								
	②	競技力向上事業 (国体総合順位)	(計画)	20位台	20位台	20位台							
			(実績)	開催延期	開催中止	45位							
	③	国体派遣事業 (監督選手等への旅費支給)	(計画)	全ての本国体・ブロック派遣者									
			(実績)	1競技23人	36競技422人	36競技443名							
(県が期待する効果の実現)													
評価結果					評価理由								
十分実現している					補助申請のない郡市体育・スポーツ協会があり、21市町全てに対して補助できなかった。 栃木国体へは、36競技に監督・選手・本部役員等の438名、特別国体冬季大会には、1競技に監督・選手・本部役員等の5名に対し、適切に旅費等を支給することができた。								
○ 概ね実現しているが未実現の部分がある													
実現できていない													
(計画達成状況の判定)													
判定項目			評価基準				点数						
①	中期経営計画の策定		[2点]中期経営計画(計画期間3年以上)を策定している				-						
②	中期経営計画の目標達成		[1点]目標を1項目達成		[2点]2項目以上達成		-						
③	事業目標の達成		[1点]事業目標を1項目達成		[2点]2項目以上達成		1						
④	県が期待する効果の実現		[1点]効果を概ね実現している		[2点]十分実現している		1						
合計							2						

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

【公益法人会計基準適用法人用】

直近の決算日: 令和 5年 3月 31日

6. 財務の状況 (単位:千円、%)								
項 目	R2		R3		R4		対前年度比	
	金額	対前年度比	金額	対前年度比	金額	対前年度比		
<b>【貸借対照表】</b>								
流動資産	24,903	346.94	23,848	95.76	15,146	63.51		
うち金銭債権額	24,056	380.15	22,787	94.72	13,657	59.93		
固定資産	72,517	88.79	63,919	88.14	55,585	86.96		
基本財産	20,000	100.00	20,000	100.00	20,000	100.00		
特定資産	2,241	110.07	2,441	108.92	2,662	109.05		
その他固定資産	50,276	84.30	41,478	82.50	32,923	79.37		
資産合計(A)	97,420	109.64	87,767	90.09	70,731	80.59		
流動負債	24,220	251.17	19,091	78.82	12,752	66.80		
うち短期借入金		-		-		-		
固定負債	2,415	105.09	2,749	113.83	3,196	116.26		
うち長期借入金		-		-		-		
うち退職給付引当金	1,183	118.42	1,378	116.48	1,582	114.80		
負債合計	26,635	223.06	21,840	82.00	15,948	73.02		
指定正味財産	54,146	93.05	51,741	95.56	43,646	84.35		
一般正味財産	16,640	88.87	14,186	85.25	11,138	78.51		
正味財産合計(B)	70,786	92.03	65,927	93.14	54,784	83.10		
団体債務保証額		-		-		-		
<b>【正味財産増減計算書】</b>								
経常収益(C)	88,312	40.75	105,886	119.90	207,484	195.95		
うち受託事業収入	3,701	2.73	23,648	638.96	127,109	537.50		
うち補助金収入	54,166	242.19	47,797	88.24	1,202	2.51		
うち基本財産等運用益収入	2	50.00	1	50.00	1	100.00		
うち自己収入(D)	24,490	72.35	33,317	136.04	45,713	137.21		
うち県財政支出額(E)	56,787	40.47	65,964	116.16	153,607	232.86		
経常費用	90,396	40.05	108,339	119.85	210,533	194.33		
事業費	68,297	35.60	100,760	147.53	202,796	201.27		
うち人件費(F)	37,061	812.03	33,886	91.43	22,926	67.66		
管理費(G)	22,100	92.58	7,578	34.29	7,737	102.10		
うち人件費(H)	16,261	93.09	2,998	18.44	2,556	85.26		
当期経常増減額(I)	-2,084	23.21	-2,453	117.71	-3,049	124.30		
経常外損益	0	0.00	0	-	0	-		
当期一般正味財産増減額(J)	-2,084	22.63	-2,453	117.71	-3,049	124.30		
当期指定正味財産増減額(K)	-4,043	46.85	-2,405	59.49	-8,095	336.59		
(会計方針の変更による影響額)		-		-		-		
<b>【収支計算書等】</b>								
当期収入	84,270	36.94	104,495	124.00	199,998	191.39		
当期支出	80,893	37.51	100,430	124.15	202,552	201.68		
当期収支差額(L)	3,377	27.10	4,065	120.37	-2,554	-62.83		
次期繰越収支差額(M)	894	-39.24	4,760	532.44	1,985	41.70		
<b>【会計単位別】</b>								
	経常収益	経常費用	当期経常損益	当期収入	当期支出	当期収支差額		
一般会計	172,823	174,459	-1,636	172,823	174,237	-1,414		
特別会計(賛助会費)	27,169	29,191	-2,022	19,074	20,393	-1,319		
特別会計(収益事業)	8,102	7,492	609	2,101	7,921	180		
合 計	180,925	181,951	-1,027	174,924	182,158	-1,234		
<b>各財務数値の増減理由及び各種引当金の設定状況等</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・退職給付引当金は本協会事務局規定に定める支給率による</li> <li>・固定資産及び指定正味財産の減は、田中町人工芝グラウンドに係る減価償却による</li> </ul>								
<b>(財務状況の判定)</b>								
判定項目	R2		R3		R4		点数	
	数値・比率	対前年度比	数値・比率	対前年度比	数値・比率	対前年度比		
① 当期経常増減額率(I/C)	-2.36		-2.32	98.17	-1.47	63.43	62.27	0.0
② 当期一般正味財産増減額率(J/C)	-2.36		-2.32	98.17	-1.47	63.43	62.27	0.0
③ 当期指定正味財産増減額(K)	-4,043		-2,405	59.49	-8,095	336.59	200.22	-2.0
④ 正味財産比率(B/A)	72.66		75.12	103.38	77.45	103.11	106.60	0.0
⑤ 次期繰越収支差額(M)	894		4,760	532.44	1,985	41.70	222.04	-1.0
⑥ 県財政支出率(E/C)	64.30		62.30	96.88	74.03	118.84	115.13	-2.0
⑦ 自己収入比率(D/C)	27.73		31.46	113.46	22.03	70.02	79.45	-2.0
⑧ 管理費比率(G/C)	25.02		7.16	28.60	3.73	52.10	14.90	0.0
合計								-7.0

※判定項目ごとに評価基準に基づき採点

**出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)**

【共通】

7. 経営内容及び事業活動についての総合判定			
(団体の自己評価)			
「計画達成状況」「財務状況」の合計点数	-5.0	➡	総合判定 B
5点以上:A 概ね良好	-5点以上~5点未満:B 改善の余地あり	-5点未満:C 一層の努力が必要	
※事業活動・経営の努力・今後の課題及び改善事項等			
<p>本協会は、県民のスポーツ振興及び競技力向上等の各種事業を長崎県及び日本スポーツ協会からの補助金や委託金を主な財源として適正かつ効率的に実施しているが、本協会の独立性を高めていくためには、なお一層の自主財源確保に努め、主体的に事業を推進する必要がある。</p> <p>平成26年長崎国体以降、賛助会費等の自主財源の減少傾向が続き、令和元年度に累積赤字による資金繰りが悪化したため、基本財産4千万円のうち2千万円を取り崩し、累積赤字に補填した。令和2年度からは、各種事業を見直し収支改善を図っており、改善に向かっている。</p>			
(県の評価)			
合計点数	-4.0	※評価の内容、県評価での加点・減点、総合判定の理由 (加点・減点を行う場合は、点数及び理由を具体的に記載ください。)	
総合判定	B	<p>財務状況は、令和2年度以後改善しつつあるものの経営状況は依然として厳しい状態が続いているが、本協会の事業は県民に大きな影響を与えることから、より一層の自主財源の安定的確保、自立化に向けた取り組み、各種事業の見直しによる収支改善について支援を行っていく。</p> <p>県財政支出率が一年度より高くなっているが、委託事業の国体派遣費支給業務が団体の財政規模を大きく上回るものであり、3年ぶりに行われた国体にて同委託業務が再開されたり協であるため、「-2.0」から1点加点し、「-1.0」とする。</p>	
(今後の県の関与の方針)			
<p>本県スポーツの普及・振興には、生涯スポーツ、競技スポーツ及び学校体育との連携が不可欠であり、県内のスポーツ関係団体を統括し、日本スポーツ協会とも密接な関係にある長崎県スポーツ協会と、本県が協力して継続的に取り組みを推進する必要がある。</p> <p>そのため、県と協会の連携を欠かすことはできず、財政支援を含めた一定の県の関与は必要である。</p>			